

ごちゃまぜ（ビビン）の会に参加して

社会人 田崎美里

私がビビンの会に初めて参加してからどの位の月日が経ったのでしょうか。初めて参加した時は日韓アジア基金の1スタッフであり、友人でもある小〇君に誘われて軽い気持ちで参加したのは憶えている。そんな私が今回はイベントの裏リーダーを任された。花形であるイベントリーダー、いわゆる当日の司会進行の二人は、若手のベッピンさんとムードメーカーに任せて事前準備(主に集客)から始まった。



スタッフ一同 懇親会も無事終わってほっとしています。

実を言うと、集客に関しては毎回苦戦する。東北を襲った未曾有の大地震の直後よりは韓国人を始めとする外国人が訪日している数が増えてはいる。しかし、4年が経った今でもその数は以前にはいかず、会に参加して下さる外国人（韓国人含む）が中々伸びない。

数々の伝手や日本語学校にイベントの告知の飛び込み営業的な手法を取っているのだが、そろそろこの集客も限界を迎え始めていると感じていた。そんな中、当日アジア文化会館の館内放送で寮生向けに告知をしたら効果覿面！3名の韓国人留学生が飛び込みで参加してくれた。

そんなこんなで今回参加してくれた方の数は日本人20人、韓国人9人の総勢29人であった。

参加理由を聞いてみるとボランティア未経験だけれど、ボランティアに興味があり参加した。という意見をちらほら聞いた。“韓国”と言うことに興味があったのが優先されたのではなく、“ボランティア”に興味を持って参加された方が数名いた事に驚きつつ、数年前に波が来た韓流ブームの次はボランティアブ

ームなのか！？と日韓アジア基金の今後のボランティア活動参加につながるのを期待しつつ、社会（世界？）全体のボランティア参加率が少し上がるお手伝いが出来れば良いなど期待しつつ今回のごちゃまぜの会が終わった。

今回の会を通じて、参加された方々に感謝の気持ちと今後のご活躍を期待するとともに、会を運営する為に一緒に頑張ってくれたメンバーに感謝と、こんなにも私の心を掴んで放さないメンバーとゲストの魅力にありがとうと伝えたいです。

そして、今回リーダーを務めてくれたムードメーカーのサンオンさんが、勤める会社の事業の関係で韓国に数年行くこととなりました。母国で頑張って活躍されることをビビンの会スタッフ一同心より応援しております！

Good luck!

2015年 夏